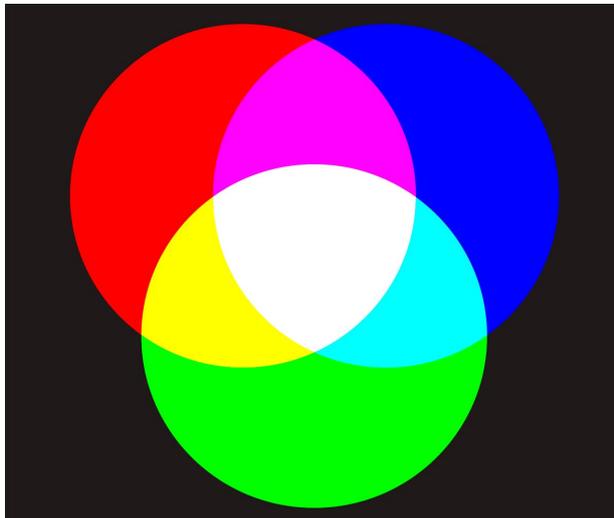




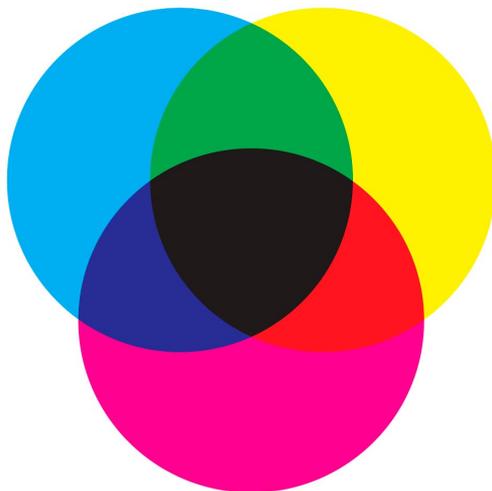
# 三原色

さんげんしょく

あ  
か  
さ  
た  
な  
は  
ま  
や  
ら  
わ  
A  
B  
C  
D  
E  
F  
G  
H  
I  
J  
K  
L  
M  
N  
O  
P  
Q  
R  
S  
T  
U  
V  
W  
X  
Y  
Z



加法混色



減法混色

## 概要

三原色 (three primary color、three primaries) とは、混ぜることによってすべての色をあらわすことができる、三つの原色をいいます。多くの色は、複数の色を混ぜ合わせるによって作ることができますが、混色をしても作りだすことができない有彩色があり、これを原色といいます。原色をさらに分解することはできません。色には光そのものの色 (光源色) と、光が物体に当たって反射・吸収・透過した際に生じる色 (物体色) があり、このどちらであるかによって原色が異なります。前者は太陽光やパソコンのモニタ画面などであり、後者は絵具や染料などを含む、それ自体が発光しない物体の色を指します。

光源色の原色は、レッド (Red) ・グリーン (Green) ・ブルー (Blue) で、これら三色を混ぜていくと白 (無彩色) になります。このように、もとの色より混色された色の明度が高くなる混色を、加法混色といいます。物体色の原色はシアン (Cyan) ・マゼンタ (Magenta) ・イエロー (Yellow) で、これら三色を混ぜていくと黒 (無彩色) になります。このように、もとの色より混色された色の明度が低くなる混色を、減法混色といいます。なお、カラー印刷では、シアン・マゼンタ・イエローの三色と黒インクの掛け合わせによって、色を再現する仕組みになっています。

※掲載している図版は、PC モニターでの閲覧を前提に作成したもので、実際の色彩と異なる場合があります。